

## 第 8 次 第 9 回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日 時 : 平成 23 年 3 月 24 日 (木) 14:00~14:40

会 場 : 市役所本庁舎 9 階 議会大会議室

出席委員 : 10 名

会 議 録 :

### (若林室長)

それでは定刻となりましたので始めさせていただきます。

本日は、大変お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

冒頭の報告となりますが、委員の K さんが 3 月 10 日、急遽転勤となりまして、委員を辞退する申し出がございました。後任を選任する時間がないため、本審議会の構成員は総数 18 名となりますことを、ご了承いただきたいと思っております。

本日は、委員 18 名中、今現在 10 名が出席しており、「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」及び「施行規則」により、審議会成立の要件であります半数以上の出席を得ておりますので、ただ今から、第 8 次第 9 回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

開催にあたりまして会長よりご挨拶をお願いいたします。

### (会長)

皆さま、本日は、大変お忙しい中、第 9 回の審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

前回の審議会におきましては、起草委員会で作成した「家庭ごみの有料化について」の諮問に対する答申草案をお示しして、副会長から説明をいただきました。

本日の審議会では、それを修正した答申案についてご報告させていただきます。それに対して、皆様からご意見をいただきたいと考えております。

答申草案につきましては、新聞報道はもとより、先日まで、市議会におきましても、いろいろと話題に上っていたものと聞いております。

しかし、いろいろありましても、答申については、9 月に市長さんより諮問を受けて以来、7 ヶ月間にわたりまして、これを審議していただきました委員の皆様のお考えを反映したものでなければならぬと考えております。

そのために、本日は、皆様からの忌憚のないご意見をいただきたく、よろしくをお願いいたします。

以上、挨拶にかえさせていただきます。

### (若林室長)

ありがとうございました。

会議の際に毎度申し上げておりますが、委員の皆様がご発言なされる場合には、皆様のマイクの前の赤いランプが点灯していることをご確認の上、ご発言くださいますようお願いいたします。

それでは会議規則に従いまして、会議の進行については、会長にお願いすることといたします。

よろしくをお願いいたします。

### (会長)

それでは、会議の次第に従いまして会議を進めてまいります。本日の審議会はおおむね 2 時間を予定しておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

まず、審議事項「家庭ごみの有料化について」でございますが、第 8 回の審議会におきまして、起草委員会から報告されました答申草案に対しまして、委員の皆さんから意見を募集いたしましたこと

る、2件の意見が出されました。

この2件の意見の取り扱いにつきましては、私と副会長とで検討させていただきました。

本日は副会長が欠席されております。説明につきましては、起草委員会のメンバーでありますA委員にお願いいたしたいと思っております。副会長の方からそういう話を承っておりますので、A委員、よろしくお願いいたします。

#### (A委員)

はい、Aです。

それでは、副会長に代わり、私の方から説明申し上げます。

お手元にあります資料1をご覧ください。答申草案に対しては、ご覧のとおり、2件の意見が提出されました。

その意見の取り扱いについては、3月14日に、会長と副会長で対応を協議し、考え方を取りまとめたと同っております。

資料1と併せて、資料2の答申案、並びに前回の審議会に配布した答申草案も参照しつつ、説明を聞いていただければと思います。

さて、1件目は、答申草案6ページ下から4行目から始まります「今後は、更なる普及を目指して、適切な利用方法等に対する十分な周知が必要であると考えます。」との記述に対する変更提案の意見となります。

内容といたしましては、“より具体的な方が良い”との理由から、「今後は、うまくいっている人の事例を集めて、購入時等に周知が必要であると考えます。」に変更するというものです。

この意見に対する会長・副会長の考え方といたしましては...

第一に、原文の「適切な利用方法等」という表現には、「うまくいっている人の事例」も含まれているため、また、「うまくいっている人の事例」だけではなく、例えば、間違った使用例の紹介、アンケート結果など、他にも周知が必要な事項はあるとの考えです。

第二に、「購入時等に」と具体的に記述すべきとの意見ですが、購入時だけではなく、広報紙やホームページ等を用いて、広く市民に周知する必要があるため、「購入時等」と記述すると、むしろ、購入時だけの周知で終わってしまう可能性があるとの考えです。

さらに、第8回審議会にて、副会長が説明されていたように、答申書は制度設計とは異なるため、基本的には具体的な表現は避けることを前提としていますので、この変更提案の意見に対しては、訂正せずに、『原文どおり』で対応するとの考えです。

続いて、2件目の意見です。

2件目の意見は、答申草案7ページ上から3行目から始まります「なお、生ごみをたい肥や飼料へ資源化している事例がありますが、工業都市である苫小牧では課題も多いため、今後の技術革新や各市の動向に注視し、調査・研究を進めるべきだと考えます。」との記述に対する変更提案の意見となります。

内容といたしましては、“工業都市であっても循環型社会にもっと前向きな方が良い”との理由から、「なお、生ごみをたい肥や飼料へ資源化している事例を検討し、昨今の穀物高騰や異常気象を考える時、今後の技術革新や各市の動向に注視し、調査・研究を進めるべきだと考えます。」に変更するというものです。

この意見に対する会長・副会長の考え方といたしましては...

第一に、原文の「工業都市である苫小牧では課題も多いため」という表現は、提出意見のとおり、確かに“後ろ向き”という印象を与えかねない記述となっているため、削除すべきとの考えです。

第二に、「昨今の穀物高騰や異常気象を考える時」との記述を加えるべきのご提案です。この点については、調査・研究を進めて、例えば、“生ごみを飼料化して得られる飼料の価格”と“輸入飼料の価格”を比較したりすることで、結果として得られる記述となるため、「調査・研究を進めるべき」と

いう記述に留めるべきとの考えです。

これらの考え方より、原文を、「生ごみの資源化については、今後の技術革新や各市の動向を注視し、調査・研究を進めるべきだと考えます。」との記述に『全文訂正』し、対応するとの考えです。

私の方からの説明については、以上となります。

#### (会長)

はい、ありがとうございました。

ただ今、ご説明いただいた内容で修正した答申案につきましては、資料 2 として皆様に配布させていただいております。

最初の意見につきましては、「具体的過ぎる」という趣旨から修正しないものとし、もう一方の意見については、「委員のおっしゃるとおり」と考え、反映をさせていただきました。

また、これとは別に、9 ページの委員名簿ですが、先ほど室長さんから説明がありましたとおり、転勤とかいろいろと変動がございますが、そこにお示したとおりのメンバーということで、適当であろうということで、修正させていただいております。

以上ですが、皆さまの方から何かご意見がございましたらよろしく願いいたします。

二つの意見に対しては、今、A さんから説明がありましたような趣旨で答申をまとめるということで、いかがでしょうか。

よろしいですか。

<「よろしい」との声あり>

はい、ありがとうございます。

本日の審議を踏まえまして、答申内容を決定したいと思いますのですが、後の作業につきましては、私と副会長に一任していただき、それをもって、答申するというようにしたいと思います。

よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

<「よろしい」との声あり>

はい、ありがとうございます。

それでは、「よろしい」という了解を得ましたので、これをもって、昨年 9 月 22 日に市長から諮問されました「家庭ごみの有料化について」に対する審議は終了するということとなります。

なお、市長に対する答申につきましては、来週 3 月 28 日に、私と副会長とで行う予定ですが、時間につきましては、市長の都合もございますので、まだ、はっきりしておりません。

そういう段取りでこれから進めるということになります。

長い間、審議していただきました。答申の内容ができました。これで、やっと私どもも肩の荷を降ろすということになりますが、最後に、事務局の方から何かございましたらお願いいたします。

#### (山村副主幹)

それでは私の方から資料 3 の方の苫小牧市一般廃棄物処理基本計画の一部訂正についてご説明させていただきます。平成 22 年 3 月に策定いたしました基本計画でございますが、策定に当たりましては、チェックを厳しく行って策定いたしました。今回基本計画を精査いたしましたところ、40 ページのごみ処理施設に関する施策の焼却処理施設の文中で、沼ノ端クリーンセンターについて、計画中期に改修計画を検討するとなっております。42 ページのただ今お手元にお配りしております、「6 重点施策のスケジュール等」が食い違っておりますので、資料のとおり一部訂正させていただきます。誠にお手数をお掛けいたしますが、よろしく願いいたします。以上です。

#### (会長)

はい、ありがとうございました。

これは差し替えればよいということですか。

はい、ありがとうございます。

その他、委員の皆様から何かございますでしょうか。

気楽な気持ちで何でもよろしいでございます。

今回 8 次の審議会は、今日でだいたい終わりということになりますが、また最後に皆さまから一人ひとりにご意見を伺いたいと思います。よろしいでしょうか。

B 委員、何かご意見ございましたら、今までの感想でも、何でもいいです。

(B 委員)

2 年間、はじめて参加させてもらいましたけど、いろいろ大変勉強になりました。

(会長)

ありがとうございます。C さん。

(C 委員)

何かこの度はあまり具体的に意見申し上げないでしまったな、大変理論的にご意見を仰ってましたので、なるほどと聞いてました。ただ、私、ちょっと残念だったのは、有料化するっていう、2 リットルとか袋の話がありましたよね。私は分かっているんです。分かっているって言うのは、なぜかって言うと、小樽で見ました。小樽市役所に視察に行ったときに説明を受けました。それから伊達にも参りました。ですが、果たして皆さん、ぴんときたかな、っていう感じなんですよ。袋をね、2 リットルとか 4 リットルとか、そのあたり、もっと、具体的に、例えば、他市と比べてとか、よそのあれと勘案してというようなお話ございましたから、なんなら、袋のようなものもね、まだそこまでは進まないんでしょうけど、まだ私どもは有料化というものを答申するって言うだけであって、しかし、具体的に出ていましたから、そういうものを皆さんに見せていただければ、具体的に、「あーそれだなあ。」っていうような感じをもちました。以上です。

(会長)

ありがとうございます。これから、またはっきりすることが出てきますから。その都度、説明があると思います。すみません、D 委員さんお願いします。

(D 委員)

2 年間、いろいろと勉強させていただきました。ありがとうございます。今後は、苫小牧のごみ行政、ますます推進することを祈念いたしまして、御礼の挨拶といたしたいと思います。どうもありがとうございました。

(会長)

はい、ありがとうございました。J 委員、お願いします。

(J 委員)

2 年間、どうもありがとうございました。私的にはちょっと難しいって言うか、ちょっとこの場になれるのに難しいって言うことが、ちょっとあったんですけど、最後にきて、やっと起草委員の方にもなれて、ちょっと理解できることができて良かったな、と思いました。ありがとうございました。

(会長)

ありがとうございました。我々、ごみ、ごみ、と簡単に言いますが、結構、奥が深いですよ。勉強することがいっぱいありますもんね。ありがとうございます。

A さん、お願いします。

(A 委員)

委員やっていて、やはり 8 次の審議会は、苫小牧市のごみの有料化って言う大事な審議をしたって

言うことで、その中の一人となって参加できたことを、本当に光栄に思っております。これからも、もっともったごみを減らす方向で、一人の市民としてもがんばっていきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。E 委員さん、お願いします。

(E 委員)

私、大分長い間、商店街の代表として出席いたしていただきました。まず、ごみを有料化するっていうことに対して、市民がやっぱり資源の有効利用って言うような、そういう意識を高めて行くようにしなければ、やはりごみを有料化する意味合いがなくなっていくと思うんですよ。やはり私たち商売していて、やっぱり商品を非常に無駄に使っているって言うか、捨てるって言う、捨てるって言うような、そういう状況が非常に多いんです。それを直して使うと、ある程度、買うよりもいくらか安い価格で、直して使えるんですよ。やはり、そういうような意識を持って行くような方向に持って行って有料化にしていくって言うことが、ごみの減量につながっていくし、また、資源の有効利用につながっていくと、そういうふうに感じました。

(会長)

ありがとうございます。そのとおりだと思います。F 委員さんお願いします。

(F 委員)

大変、勉強になりました。ありがとうございます。市民の皆さん一人ひとりが、ごみ行政についてこれからは一生懸命努力していかなければならない、そんなような時代でないかな、っとしみじみ感じました。ありがとうございました。

(会長)

はい、ありがとうございます。G 委員さん、お願いします。

(G 委員)

前半の審議会、欠席が多かったので、申し訳なかったんですけど、市民の立場からしても、有料化って言うこと、この審議会の中で、本当に日常生活の中でも大きな問題ということで、もう少し、ごみに対して、意味を高めていかなければいけないということで、自分自身反省しています。

(会長)

そうですね。我々の生活の問題ですもんね。H さん。

(H 委員)

皆さん、ありがとうございました。私、見かけによらず、緊張してしましまして、ほとんど発言することができず、また、組合を代表して来ているにもかかわらず、意見も述べられなかった、ということ深く反省し、またすばらしい答申書ができましたので、今度の一つ、こういうところでもきちんと発言できるように、勉強していきたいなと思っております。今回、どうも勉強になりました。ありがとうございました。

(会長)

よろしく願いいたします。ありがとうございます。

本日出席の各委員の皆さまには本当に貴重なご意見ありがとうございました。これで、本審議会は終了ということになるんですが、この 8 次の審議会、終了するにあたりまして、私からですね、一言、お礼といいますか、挨拶を申し述べさせていただきます。

この第 8 次審議会は、平成 21 年から 22 年度、あわせて 9 回の審議会を開催しております。

21 年度からは eco ライフ大作戦、その次にはプラスチックの分別収集、また、22 年 3 月の一般廃

棄物処理基本計画の策定に伴う、家庭ごみの有料化の諮問を受け、そして皆さまといろいろと議論を交わしながら、今日に至っております。この2年間は、苫小牧市のごみ行政にとって、大変、重要な期間であったと思います。私と同じ認識の委員さん、先ほども仰ってました。

ごみは我々の生活から発生する身近な問題であります。

バブルのときの大量生産社会は終わりました、省資源化、循環型社会に変わるためには市民一人ひとりがごみを、ごみではなく資源として真剣に取り組まなければならない課題だと思っております。

大変重要な審議事項が課せられたこの2年間でございました。委員の皆様から大変貴重なご意見をいただき、審議することができましたこと、あらためて感謝と御礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。

以上、これをもちまして、本日の審議会、そして、第8次審議会を閉会いたします。

どうもご苦勞様でございました。

#### (若林室長)

会長、本当にありがとうございました。

最後に、第8次の審議会の閉会にあたりまして、事務局を代表いたしまして、環境衛生部長の本波よりご挨拶がございます。

#### (本波部長)

一言、お礼のご挨拶を申し上げさせていただきたいと思っております。

皆様におかれましては、この2年間、廃棄物行政に対する貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

特に、昨年9月に、市長から諮問を受けて以降、ほぼ毎月、審議会開催にお時間を割いていただきました。また、本市の家庭ごみ有料化のあり方について、熱心なご議論をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

皆様ご存知のとおり、平成12年の10月に、この減量審より「将来的な家庭ごみの有料化を検討する必要がある」との提言を受けまして、それから10年以上経ています。しかし、いまだに有料化の実施には至っていないということにつきましては、やはり、第一には、市民の皆様のご負担を伴うということで、市民意見が分かれる施策であったからでないかと言うぐあいに思います。

この10年を超える長い期間において、私どもといたしましては、ごみ収集の民間委託の拡大等を進めることにより、ごみ処理経費を圧縮してまいりました。さらに、分別品目の拡大、各種助成制度の創設、さらには、まちぐるみの取組であるゼロごみ大作戦の実施など、ごみ減量とリサイクル推進に向けて、様々な施策に取り組んでまいりましたが、もう一段階、上のレベルを目指すためには、家庭ごみを有料化する他ないという考えから、皆様にご審議いただいていたところでございます。

誠に個人的なことで申し訳ございませんけれども、私は3月31日で定年退職になります。この家庭ごみ有料化の実施を、この立場で見届けることはできません。

しかし、家庭ごみ有料化は、これまでの取組の効果をより高いレベルに引き上げることができる施策であると、私自身、確信しておりますことから、今後、ここにいるスタッフを含めた後任の者が、市民の皆さんのご理解が得られるよう、徹底した市民周知に努めた上で、家庭ごみ有料化を含む様々なごみ減量施策を実施し、必ず大幅なごみ減量への道を開くものと考えております。

最後になりますが、委員の皆さまには、この審議会を通じまして、私どもにさまざまな形でご指導をいただきましたこと、厚くお礼を申し上げます、事務局を代表してのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

#### (若林室長)

それでは、これで第8次の審議会は閉会いたします。皆さま、この2年間にわたりまして、熱心なご審議・ご協力、本当にありがとうございました。